

守山事業所(工場) 技能社員 教育体系図

【階層別教育】

①新入社員教育・・・入社～3ヶ月半

- 1)規律訓練を行ない、社会人としての考え方、マナー、モラルや3Kの遵守などを身につけ、社員としての基礎育成を行なう。
- 2)「ものづくり」の実体験を軸とした技能実習・現場実習を行ない、ものづくりのセンスを養う。
- 3)技能社員として必要な知識習得と改善能力、問題発見能力の向上を図る。

内容:座学研修(会社概要、就業規則、基本行動、マナー研修、技術基礎教育、安全衛生教育など)
技能実習(手作業、計測器、旋盤、機関分解・組立・運転)
現場実習

②中堅社員教育・・・入社5年目

- 1)基本動作や基礎的な内容の再履修を行ない、理解度を測るとともに、基礎の再構築を行なう。
- 2)中堅社員として知っておくべき知識と技術の習得。
- 3)参加者同士の相互啓発。

内容:座学研修(「安全ルールの振り返り」「仕事の基礎・専門(製図・電気・QC)知識」)
技能実習(手作業、計測器、機関分解・組立・運転)

③新任班長補佐教育

- 1)基本動作や基礎的な内容の再履修を行ない、理解度を測るとともに、基礎の再構築を行なう。
- 2)初級管理・監督者として必要な知識・技能の習得を図る。
- 3)受講者に「教えられる立場から教える立場へ」の変化を体感させる。
- 4)参加者同士の相互啓発。

内容:座学研修(班長補佐の役割、就業規則、マナー・モラル、改善、QC、ISO4001など)
TWI-JI(仕事の教え方)講習
メンタルマネジメント講習

④新任班長教育

- 1)「原理原則」を理解、熟知し、遵守する必要性を部下に指導する力の醸成。
- 2)業務や部下を管理・指導する能力の向上。
- 3)外部講習参加により必須知識と実践ノウハウの修得。

内容:座学研修(班長の役割認識・基本行動、基礎知識(労務管理・人事制度・評価者研修、工場方針、原価、品質、ISO9001))

安全衛生教育(RST)2日間

外部講習・・・生産現場でのマネジメント

⑤新任職長教育

- 1)管理者としての幅広い知識の習得。
- 2)法令遵守意識、安全意識の醸成と職場への徹底。
- 3)外部講習、見学会により視野の拡大を図る(他社の技術者との交流)。
- 4)職場での教育者、または社内講師として、指導可能な資格を身につける。

内容:座学研修(職長の役割と責任、基本行動、工場方針、労務管理・人事制度・評価者訓練、ISO19001、ISO4001、安全、QC、役員講話)

トレーナー資格取得(安全衛生教育RST)

外部講習・・・生産現場でのマネジメント

⑥リーダー養成コース

グループ会社主催のリーダー養成コースに参加。

※部門長推薦の33歳以下2名程度 ※選抜制

- 1)将来有望な人材を育成する。
- 2)研修での積極的自立心の改革、マインドの向上。
- 3)実行力、表現力等の基本能力を身に付ける。
- 4)研修参加により他社との交流を深める。

内容:約3ヶ月間実施の『自主企画・自主運営』の研修

【安全衛生教育】※安全衛生グループ主体

- ・リスクアセスメント教育
- ・雇い入れ時安全教育
- ・危険予知訓練(KYT)
- ・職場安全リーダー教育